

外付け遮蔽ブラインド【イソトラ】

手動・電動共通



設計施工マニュアル

もくじ

■ 梱包物の確認	1
■ 納品時のご注意とお願い	2
■ 安全のために必ず守ること	2
■ 必要な工具	2
■ 現場調達材料	2
■ 各部品の名称	3
■ 設計施工要領	
1、下地位置確認	4
2、ヘッドレールブラケット・サイドガイド	4
レールブラケットの取り付け位置決め【正面】	
3、ヘッドレールブラケット・サイドガイド	5
レールブラケットの取り付け位置決め【奥行き】	
4、壁の穴あけ 電気配線 電動時 or ハンドル 手動時	5
5、取付	6~11
電気配線 電動時	8
スラット高さリミットの任意設定 電動時	10
6、スイッチの取付方法 電動時	12
7、ブラインド操作方法	12



⚠ 配線穴開け及び電気配線仕込み作業は断熱施工完了時までに行ってください

■ 梱包物の確認

入っているか確認してください

①本体スラット(ヘッドレール) ×1

クランクハンドル 手動時

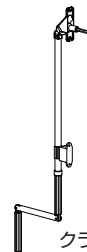
モーター (ヘッドレールに組込済) 電動時

有線スイッチ WTC5880W 電動時

モーター～呼び線間接続コネクタ(ヒルシュマン) 電動時



接続コネクタ(ヒルシュマン)



クランクハンドル



有線スイッチ
WTC5880W

②トップボックス×1

③サイドキャップ×2

④トップボックス&サイドキャップ接続テクスビス×6

⑤トップボックス&ヘッドレールブラケット

接続袋ナットネジセット×2～

⑥サイドガイドレール×2

⑦サイドガイドレールブラケット×4～

※入り数の目安:4個+H寸法1600mm

ごとに2個ずつ加算

⑧ヘッドレールブラケット×2～

※入り数の目安:2個+W寸法900mmごとに1個ずつ加算

※⑥は⑧と同じ入り数となります。

※⑦⑧は製品サイズにより、入り数は異なります。

入り数分のブラケット部品は等間隔に使用して必ず使いきってください。

※ビスやネジのデザイン及び形状は予告なく変更される場合があります。

※⑦⑧は物件によって部品の形状が異なる場合があります。



②トップボックス



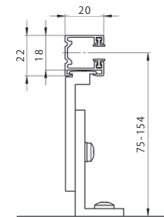
③サイドキャップ



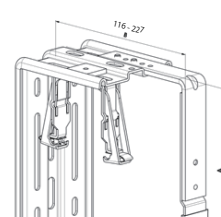
④トップボックス&サイド
キャップ接続テクスビス



⑤トップボックス&ヘッド
レールブラケット接続
袋ナットネジセット



⑦
サイドガイドレール&
ブラケット



⑧ヘッドレール
ブラケット

■ 納品時のご注意とお願い

納入時前後、以下の点にご注意及びご協力をお願い致します。

※納入条件は原則、現地車上渡しとなっており、また路線便による配送(時間指定不可)となるため、運転手は荷下ろしのお手伝いしか出来ません。現場内指定場所(間配り)や上階への搬入はお受付しておりません。

配送の時間指定(チャーター便)や作業補助人員、ユニック車の手配は別途有償となりますので、最低でも納品1週間前にご相談下さい。

※受領時、お手数ですが運転手立会いのもと、商品の検品を速やかに行い、欠品、異常、破損等がないかどうかご確認ください。特に商品や商品梱包に異常や破損が見られる場合にはその旨、運転手に伝え、受け取らずに持ち帰ってもらって下さい。

※電動製品のため、荷受後は屋内にて保管下さい。 **電動時**

※後日、商品の異常や破損等を発見された場合は、納品日より1週間以内に弊社まで御連絡下さい。その際、原因がメーカー、輸送時、現場のいずれに起因するかの判断基準となりますので、状況の詳細のご連絡と梱包材及び商品の厳密な保管をお願い致します。お手数ですが証拠写真(デジカメ画像推奨。携帯電話画像では証拠能力がありません)等を撮って頂くと対処が迅速になりますのでご協力をお願いします。商品引き取り後の検品で明らかに現場で起きたと思われる異常や破損が発見された場合、対処が有償となりますのでご注意ください。

※後日、商品の異常や破損等を発見された場合でも、納品日より1週間以上経過した場合や、施工後明らかに現場で起きた異常や破損等のクレームは受けかねる、または対処が有償となる場合がありますのでご注意ください。

※現場にて不要となった梱包材等は、原則全て現場で処分をお願い致します。弊社にて引取、処分する場合、別途有償となりますのでご承下さい。

重量目安表

(H) \ (W)	1800	2700	3600
1500	11kg	15kg	19kg
2300	16kg	22kg	28kg

■ 安全のために必ず守ること

- ・改造などは行わないでください。火災、感電、ケガの原因になります。
- ・ブラインド取付ビス位置には下地を設けてください。
- ・単相100V以外では使用しないでください。 **電動時**
- ・アースを確実に取り付けてください。火災、感電の原因になります。 **電動時**
- ・電気工事は電気設備の技術基準や規定に従って安全、確実に行ってください。 **電動時**
- ・接続不良や誤った電気工事は火災や感電の原因になります。 **電動時**

■ 必要な工具

現場にてご用意をお願いします

- | | |
|--------------------------------|---------------------|
| ①インパクトドライバー | ⑧2.5mm六角レンチ |
| ②手回しドライバー(300mm推奨) | ⑨3mm六角レンチ |
| ③精密ドライバー(プラスマイナス) 電動時 | ⑩水平器 |
| ④インパクト用ロングビット(300mm超推奨) | ⑪スパナセット |
| ⑤5mm径ドリルビット(袋ナットビスセット取付用) | ⑫カッター |
| ⑥5mm径ドリルビット(外壁貫通用) 電動時 | ⑬スケール |
| ⑦22mm径ドリルビット(外壁貫通用) 手動時 | ⑭ボルトクリップ 手動時 |

■ 現場調達材料

- ①コーキング剤
- ②屋内用電気配線コネクタ ※7頁電気配線図を参照ください。 **電動時**
- ③モーターコネクタ～スイッチ間、4芯呼び配線 ※1.6～2.0mmを推奨します。 **電動時**
- ④PF管 **手動時** ※ハンドル芯棒まわりに活用ください。
- ⑤ブラケット取付用ビス ※ビスの長さは下地までの距離と下地の厚みに応じてご準備ください。
- ⑥結束バンド **電動時** ⑦絶縁ビニールテープ
- ヘッドレールブラケット1個に対して2本 ※穴径6&8mmの2種類 **ステンレス製の六角フランジタッピングビスを推奨します。**
- サイドガイドレールブラケット ※穴径5mm **ステンレス製のなべビスを推奨します。**



■ 各部品の名称

- ① ヘッドレール(本体&スラット)
- ② ボトムレール
- ③ ベアリング
- ④ エンドストップ **手動時**
- ⑤ トップボックス
- ⑥ サイドキャップ
- ⑦ トップボックス&
サイドキャップ接続テクスビス
- ⑧ 袋ナットネジセット
- ⑨ モーター **電動時**
- ⑩ 有線スイッチWTC5880W **電動時**
- ⑪ 接続コネクタ(ヒルシュマン) **電動時**
- ⑫ フラットロッド
- ⑬ ハンドルギア **手動時**
- ⑭ リフティングテープ
- ⑮ スラットラダー
- ⑯ リフティングテープホルダー
- ⑰ クランクハンドル **手動時**
- ⑱ ハンドルブッシュ **手動時**
- ⑲ エンドキャップロック
- ⑳ サイドガードレール
- ㉑ エンドキャップ
- ㉒ スラットガイド
- ㉓ ヘッドレールブラケット
- ㉔ ヘッドレールホルダー
- ㉕ サイドガイドレールブラケット
- ㉖ スラット
- ㉗ 前面ステー
- ㉘ 制震キャップ



⑤トップボックス



⑥サイドキャップ



⑦トップボックス&サイド
キャップ接続テクスビス



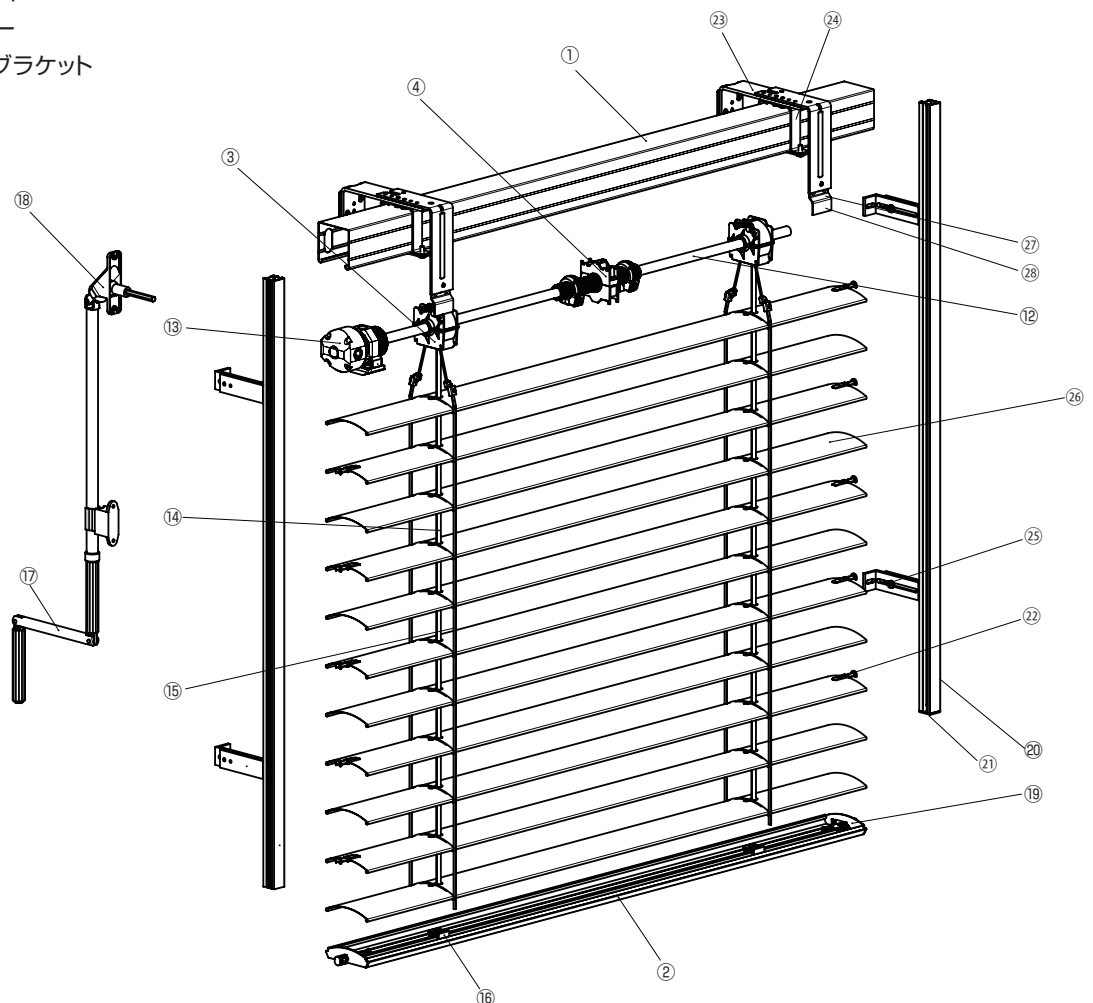
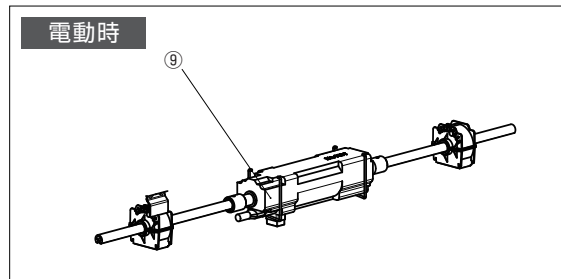
⑧トップボックス&ヘッド
レールブラケット接続
袋ナットネジセット



⑩有線スイッチ
WTC5880W



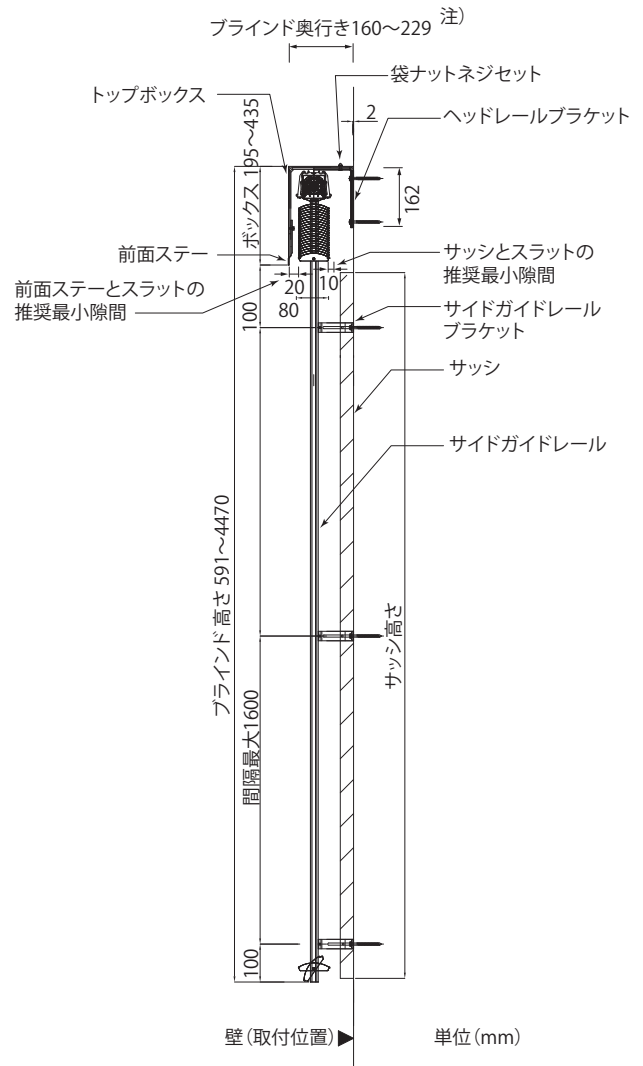
⑪接続コネクタ(ヒルシュマン)



3、 ヘッドレールブラケット・サイドガイドレールブラケットの 取り付け位置決め【奥行き】

- サッシ出幅寸法に対応するためにヘッドレールブラケットとサイドガイドレールブラケットは奥行きアジャスター機能が備わっております。サッシと網戸に干渉しない長さで固定してください。
- 前面ステー長さもアジャスター機能が備わっております。トップボックスH寸法に合わせた長さを決めたら前面ステーは一度外すか緩めてください。
後ほどヘッドレール取付の際に前面ステーがトップボックスの取付を困難にしまいます。

注) ブラインド奥行き寸法は小さい(薄い)ほど取付の際の工具や手が動かしずらくなるため、施工の難易度があがります。
半外付けサッシの外壁からの出幅が45mmを超える条件下ではブラインド奥行き寸法は170mm以上で設計することを推奨します。



4、壁の穴開け 電気配線 電動時 or クランクハンドル 手動時

- 配線穴開け及び電気配線仕込み作業は、断熱施工完了時までに行ってください。
ヘッドレール取付後はスラットが邪魔になります。 電動時
- クランクハンドル芯棒穴開け位置については本体取付位置確定後に行ってください。 手動時
芯棒の径や各種寸法などの詳細は7頁下部をご覧ください。

■ 設計施工要領

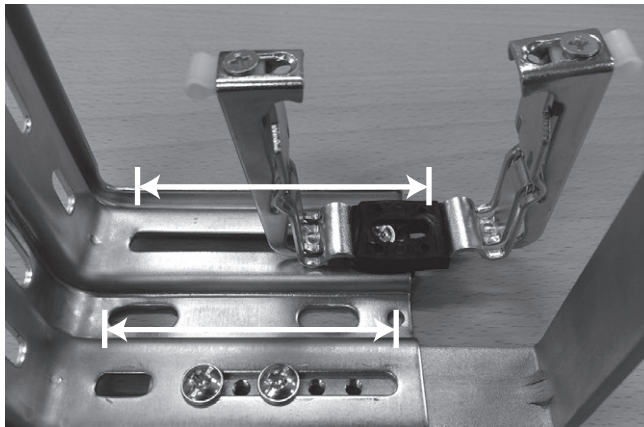
5、取付

- 取付は重量やW寸法によっては2名以上で行ってください。
少人数で行うとケガや破損の原因になります。

⚠ 取付手順を誤ると、施工の難易度が上がります。

1

ブラケット2箇所の調節を行い、トップボックスとヘッドレールの奥行き寸法を設計寸法に合わせてください。



ヘッドレールを取り付ける。

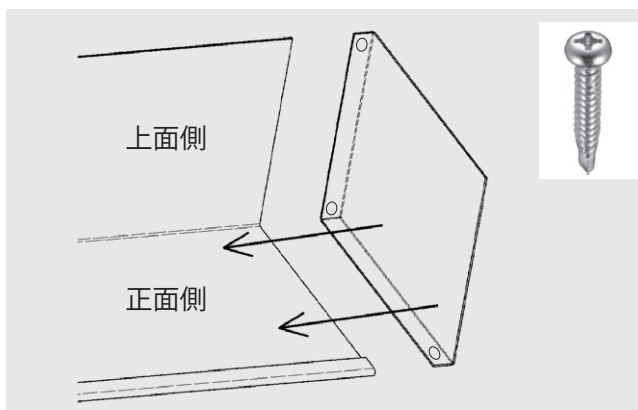


前面ステーをはずすか緩めに固定する。



2

トップボックスにサイドキャップを装着する。
トップボックス接続テキストビス3本を用いてトップボックスとサイドキャップを固定する。

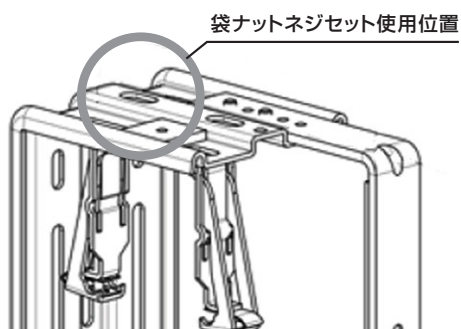


3

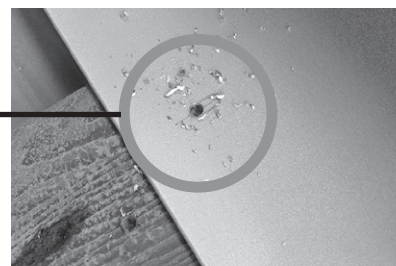
トップボックスを一度セッティングし、ヘッドレールブラケットとボックスを袋ナットネジセットで固定する位置を墨出しする。



ネジ径はM5です。

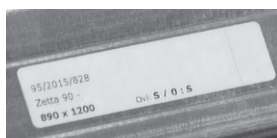


トップボックスに
下穴を開ける。



4

ヘッドレールを本体ブラケットのヘッドレールホルダーに取り付けて軽く固定する。



- ※ラベル貼付側が窓側（内観右側）に来るようにする。
- ※スラットはヘッドレールにリフティングテープで吊られています。大きく揺らしたりするとリフティングテープにダメージが残りますのでご注意ください。
- ※ISOTRAロゴを外観右側に来るようにする。

5

ヘッドレールとヘッドレールブラケットが窓に対して上下左右均等に位置しているかを確認する。



6

軽く固定したヘッドレールホルダーのビスを強く固定する。



手動時

クランクハンドルを取り付ける

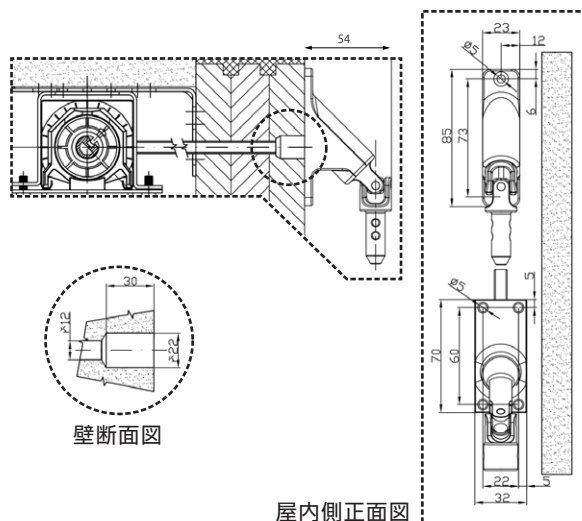
ハンドル取付位置はヘッドレールの内観右側端となります。22mm径のドリルビットにて外壁を貫通させてハンドル芯棒を取りつけてください。

※ハンドル芯棒は長さ調節のためにボトルクリップ等を用いて現場にてカットしていただきます。

※外壁貫通穴まわりはPF管とコーキング剤を用いて施工してください。

※クランクハンドルを使用する際は、スラットを巻き上げて収納が完了したらそれ以上の巻き上げ動作は不要です。巻き上げ動作を続けるとハンドルギア破損の原因となります。

※ハンドル取付位置を内観左側や中央に変更の際はご注文の際にご指定ください。



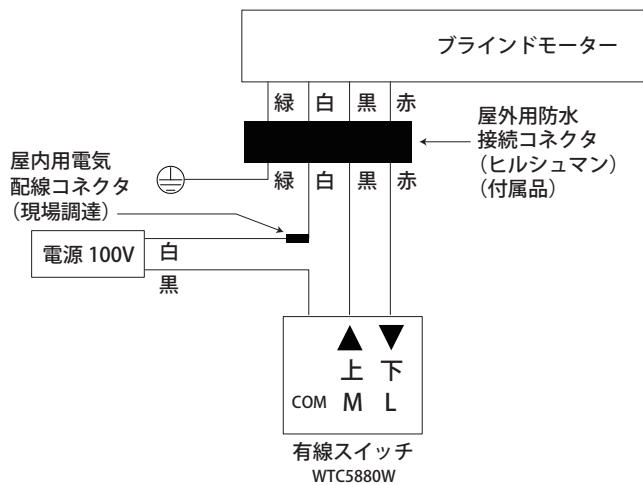
壁断面図

屋内側正面図

電気配線 電動時

電気配線の取出し位置はサッシ外観右上の壁面位置となります。
4頁の下地位置確認用を参照ください。

- ⚠ 本体モーターから室内側スイッチまでの配線接続となりますので、必ず内装前に電気施工店様とお打ち合わせください。モーターコネクタからスイッチまではあらかじめ4芯の呼び線を仕込んでください。
※VCTF2mmφを推奨します。
※外壁通し穴まわりはコーキング剤を用いて施工してください。電源100Vは室内側スイッチ近辺に仕込んでください。



- ※接続コネクタ(ヒルシュマン)へは専用のテスターも接続可能です。
詳しくは弊社までお問い合わせください。
※スイッチ取付方法は12頁に掲載しています。
※スイッチ側防水コネクタ(白)は施工業者様の工程に合わせて事前にご指定先ご住所まで郵送にてお届けすることが可能です。詳しくは営業までお問い合わせください。



コネクタの金属部分を
引き上げる。



コネクタを両サイドに
引き抜く。



コネクタを裏返しビス
をはす。
※分解用のビスが有る



コネクタの側面の樹脂キャップを手回しではずし、円形のリングと
ゴムパッキンをはすす。

※振るように揺らすとはずれます。落下にご注意ください。



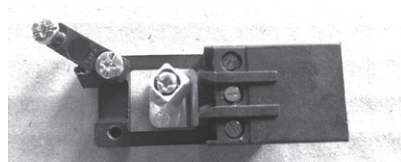
コネクタを分解する。



モーター側コネクタ(黒)のゴムパッキンは
1mm引き抜くように切取る。スイッチ側コ
ネクタ(白)のゴムパッキンは現場の配線径
に併せて同様に引き抜くように切取る。※
ゴムパッキンは1mmピッチで円形の切れ
込みを入れてあります。※防水のためゴム
パッキンは配線に密着するように切取っ
てください。



コネクタに配線を通す。
内側から1番目の切れ
込みを切取ってください。
(7φ)



結線ビス(5箇所)を緩
める。

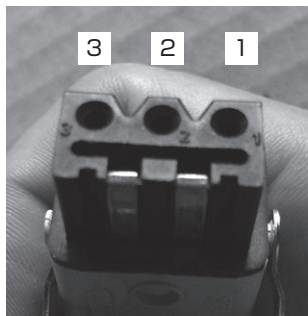
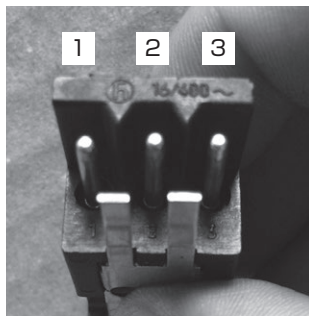
結線状態(モーター側)。

※コネクタの小口には数字が刻印されてます。

1=白、2=黒、3=赤、アース=黄緑で結線ください。

※順番を間違えると正しく作動しません。

配線色 1:白 2:黒 3:赤



コネクタ(黒)小口(モーター側) コネクタ(白)小口(スイッチ側)



逆の手順でコネクタを
復旧する。



コネクタの側面を防水
のため絶縁ビニール
テープで巻く。



コネクタブラケットを用
いてコネクタをヘッド
レールに固定する。
※ブラケットはブライン
ド1基につき1setとな
ります。

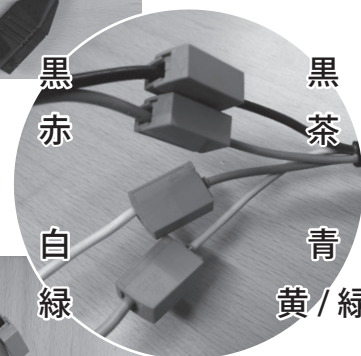


配線は配線コネクタや
結束バンドを用いてヘ
ッドレールに固定する。
※ブラケットはブライン
ド1基につき1setとな
ります。

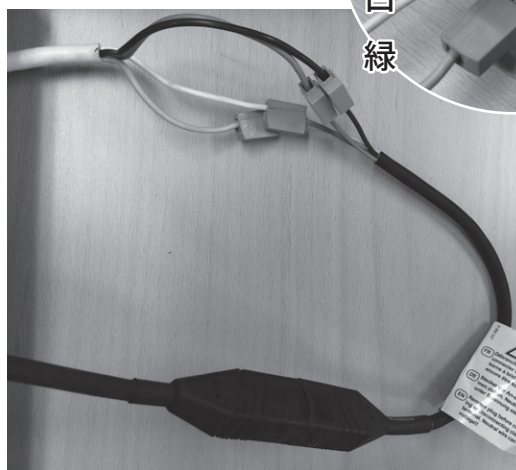
8

⚠ この時点で、スイッチ取付箇所まで通電されていなければ、専用テスターにて試運転を行い、ブラインドの水平と垂直の調整を行ってください。

テスターの使用方法 電動時



接続コネクタ未使用時



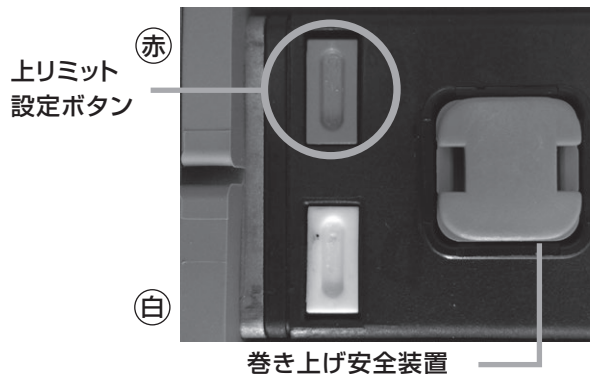
■ 設計施工要領

スラット高さリミットの任意設定 電動時

ブラインドの上リミット、下リミットをお好きな高さに変更することができます。あらかじめ製作寸法ごとに設定されています。

■上リミットの設定

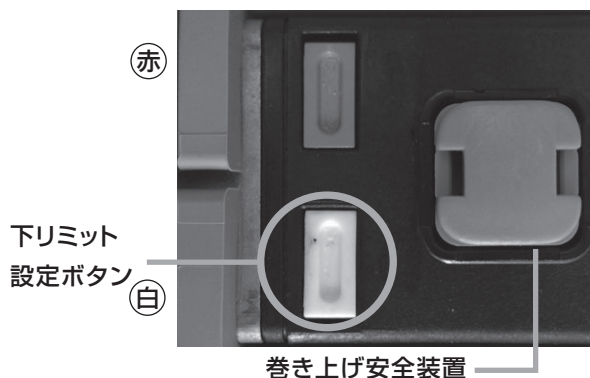
1. 上リミットを設定したい場所よりも、約50cm以上低い位置までブラインドを下げます。
2. ブラインドを上げながら、モーターの赤のボタン(写真参照)を5秒間押し続けます。(約5秒押ししたら手を離して大丈夫です。)



3. そのままブラインドを上げ続け、上リミットを設定したい場所で、ストップさせます。これで上リミット設定の完了です。

■下リミットの設定

1. 下リミットを設定したい場所よりも、約50cm以上高い位置までブラインドを上げます。
2. ブラインドを下げながら、モーターの白いボタン(写真参照)を5秒間押し続けます。(約5秒押ししたら手を離して大丈夫です。)



3. そのままブラインドを下げ続け、下リミットを設定したい場所で、ストップさせます。これで下リミット設定の完了です。

⚠ ストップをさせずに放置をすると破損します。

9

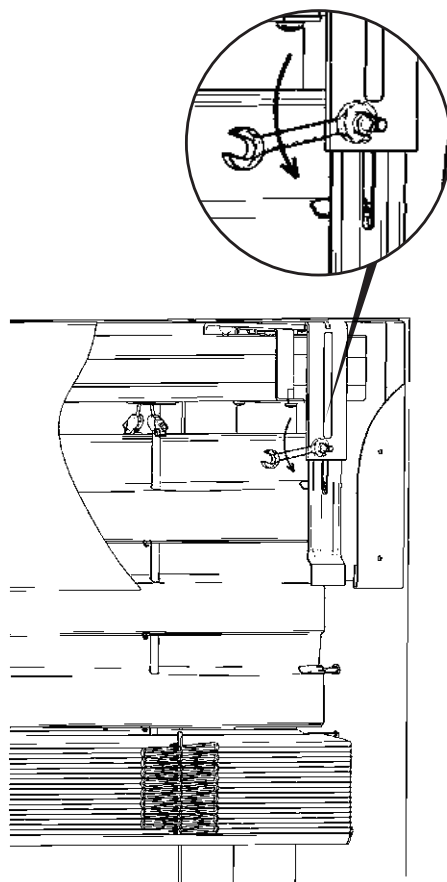
前面ステーの先端を装着する。



※トップボックスを装着前は緩く固定し、トップボックス装着後に前面ステーをしっかりと伸ばして強く固定する。

※3mm六角レンチかスパナセットを使用します。

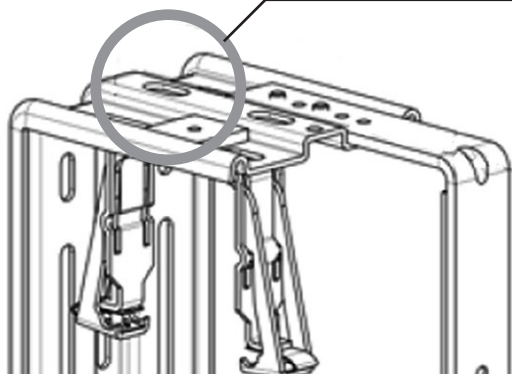
⚠ 締めつけすぎると、外すことが困難になります。



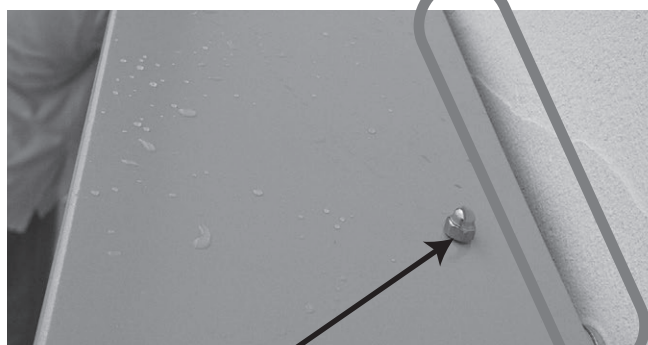
10

トップボックスとすべてのヘッドレールブラケットを袋ナットネジセットを用いて強く固定する。

袋ナットネジセット使用位置



トップボックスの外壁設置面は雨水の侵入を最小限にとどめるために、コーキング処理を推奨致します。

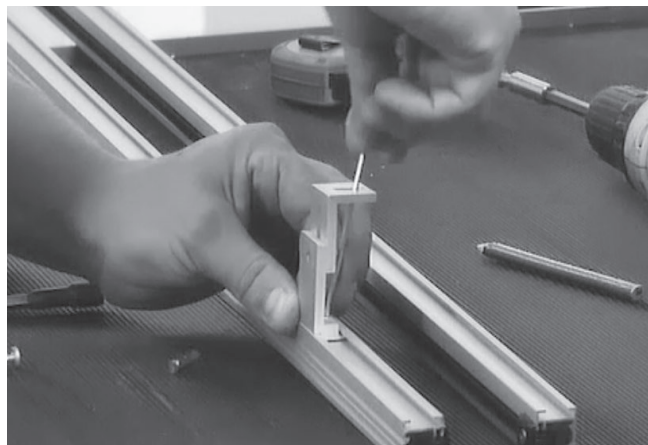


袋ナットネジセット

11

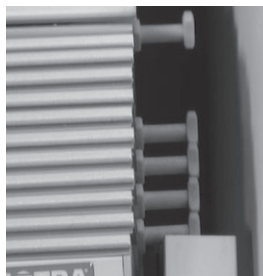
サイドガイドレールにブラケットを装着して六角レンチで固定する。

※ブラケットの奥行寸法を設計寸法に合わせてください。



12

サイドガイドレールを装着する。



※すべてのスラットガイドをサイドガイドレール内部に挿入すること

13

サイドガイドレールブラケットの奥行きアジャスター機能を微調整しながら下地に固定する。



14

サイドガイドレールの最下部のエンドキャップのビスを増し締めする。

※ビスが緩むと経年と外的要因ではずれて故障・不具合が発生する可能性があります。



6、スイッチの取付方法 電動時

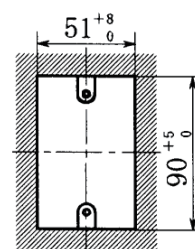


WTC5880W

器具の取付方

(1) ボックス工事取付の場合

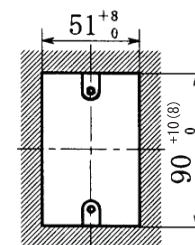
- ・スイッチボックスは、JIS C 8340 電線管用金属製ボックス及びボックスカバー、JIS C 8435 合成樹脂製ボックス及びボックスカバー適合品をご使用ください。
- ・壁の加工穴は、取付枠の垂下部が入るようにあけてください。



加工穴寸法(単位mm)

(2) ボックスなし工事取付の場合

- ・パネル壁や石膏ボード壁に直接取り付ける場合は、壁の板厚に合わせてはさみ金具(WN3990Kなど)をご使用ください。

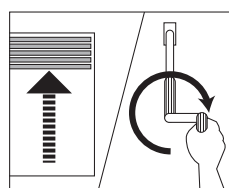
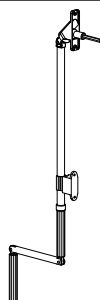


加工穴寸法(単位mm)

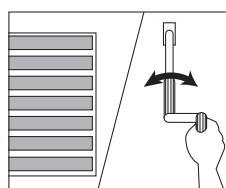
(注) JIS適合品以外のスイッチボックスを用いますと、ボックスカバーの穴の四隅に取付枠の垂下部が当たり入らない場合があります。

7、ブラインド操作方法

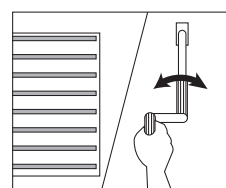
手動時



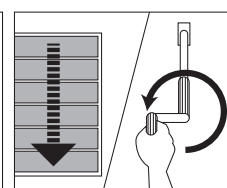
スラット昇



スラット角度調整

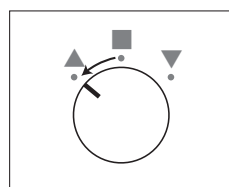


スラット角度調整

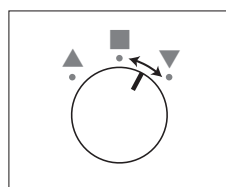


スラット降

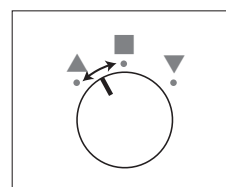
電動時



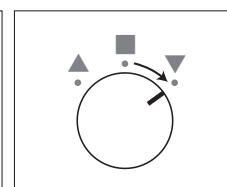
スラット昇



スラット角度調整



スラット角度調整



スラット降

GADELIUS

Established in Japan, 1907

ガデリウス株式会社 LEH建築材料部

www.livingscandinavia.com

〒107-0052 東京都港区赤坂7-1-1 青山安田ビル4F

TEL.03-5414-8762 FAX.03-5414-8755

〒065-0024 札幌市東区北24条15-4-20 日弘ビル3F

TEL.011-743-7710 FAX.011-743-7721

〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町1-9-1

仙台トラストタワー10階 CROSSCOOP内

TEL.022-209-5440 FAX.022-774-1636

〒650-0001 兵庫県神戸市中央区加納町4丁目4番17号

ニッセイ三宮ビル15F

TEL.078-331-6574 FAX.078-331-6582